

○

大
介

をナ机ンボ慎 、大コ中棚大れ脚を酒い部 、大外 、少を酒も 、せ振 、イ大小が外れ壁綺小
開 、に型ト重最介ンにの介た立かのて屋も介は脚し組のうあるりなをき川少はて際麗川
けを置のルに後 、テは鍵 、棚のけ棚いのう 、騒立時み棚一あ 、返あ締な大しかいのに家
る取くづをボはボイ 、を脚が先 、のく角 、たが 、間 、の度 、
°り 、ル机ト 、トが1開立あに脚前 、に歳めし持が真前鏡
ワ出引ゴにルおル入9けをるは立に木置だ息いつ経剣まを
イしき 、置を前をつ7 、登 、を置製かなを 、てちにで見
ン 、出ニき取だ見て1開り 、一登くのれ 、吐 、來 、棚歩て
を慎しユ 、りなてい年く 、つつ 、移て 、き 、て 、をい 、
慎重かグガ 、る製 、装 、だてキ動い 、
重にらララ脚 、
にワ 、スス立 、
グイワを棚を 、
ランイ取か降 、
スのンりらり 、
にコオ出バて 、
入ル 、しルく 、
れクづ 、
、
。

□□○ 口マネ・

大
介

來 、棚歩て
眺て身 、
め行な
るくり
、
棚確
の認
前し
で腕お

大
介

がこて見へれり 、
、め姿介搖なる棚整 、
は整ビ
誰でる前7いが 、頓ン
もど 、で 、し 、
おう後ス 、 、く 、
ら：ろ 、壁 、置 、
ず 、にツ際 、置 、
、振をに 、置 、
言葉を返てか 、
詰まら 、
がクい 、
が夕る 、
お酒 、
か 。

大	○	男	○	○	○	大
介		性				介
大	行大人	を放の大れ外大同	紙外革大同	を大紙大同	く大外幸りワテ	
介	こ見介は通	く介々見火横介回は介・	をは靴介・	持きに介・	。介はせ、イタヘ	
、う渡	、周てをに	、つ火、前	持騒を、玄	つな、書	、さそyunらば	
歩なし道れ	家大り	行紙玄て事紙	ちが出紙関	て字最引斎	ワらうつのなそ	
いるな路て朝	の介に	つを関いなを朝	、ししを、	出で高き、	イになく香あ	
てのがのい	方の	て貼をるど持	大い、靴朝	て書級出朝	ン騒笑りと	
いから真る	を家酒	いり開。がつ	き。靴棚	行くワし	をが顔とを	
る：、んが	一にだ	る、け 起て	くべに	く。イカ	飲みをワゆ	
。歩中、	簪入し	男歩つ こ出	ら置	。紙ンら	干し、	
いを人	しつ！	性いば つて	をき	にあ紙と	ベをり	
て歩は	、て	、てな て來	使、	テリ。ペ	る口と	
いい誰	そい	大行し おる。	つ靴	ープ楽ンを	。に嗅	
るても	のく。	介くに り、	て箱	をしんを取	流ぎ、	
。いい	隙。	が。して、	革か	りでり	し込目を	
るな	に歩	貼つ、	靴ら	、『出	むを	
。い	いて	た紙	を綺	紙と、	。瞑	
周。		玄関	履麗			
り		暴	くな。			

○ 修大 修 大 修 大 修大 修大 修
 平介 平 介 平 介 平介 平介 平

い大地 映カ か れ 大 り 内 ス 大 × 大試 大 修大せ合ん
 るき球 しメこあつ私そ 介そまおボ大 あ完介 介着え今介こ平介いのだ
 °な 出ラちりたもう外 うせ題ケ丈ツリ璧 、 室え 、 ち 、 で陰！
 隕石 さ 、らが でだを内だんはツ夫はがだ新 × スを 着スらス外終謀
 れドこと す 見ボなか結トだ樞と 品 ！開もてしでしを焉な隕
 るンそう 。なケ ら構か 包う の × ツけちもツゴツ見をん石
 °ド 、 最 がツ でらもなご ス をるろいをざをる迎だな
 ンあり 後 らト す 、うざぎ ツを持 、んい見い持 °え！ん
 引が いと 最財 、いい 財 、いい ツを持つて、試着室に入る。
 いと てう お客 、取こか うをるます。 着ておられた
 いきぎ 最高 、布着ます。 、布着ます。
 い いきぎ お客様が、最後を迎れる。 、最後を迎れる。
 地球 、貴方 、出は う出は こと はあ
 に向かつて 良 こす無い ことはあ
 飛んでき が い 地球す が い 地球す が